

「元気になろうライブ」に向け、合唱を練習する子供たち。笑い声が絶えない



札幌市東区のフリースクール「札幌自由が丘学園」に通う子供たちが、合唱やバンド、ダンスなどの練習に励んでいる。「学園の元気な姿を知ってほしい」と29日には中央区のライブハウスで、昨年秋から準備してきた「音楽で元気になろうライブ」を初めて開く。(片岡澄江)

東区のフリースクール「自由が丘」

学園生の元気届け

19日午後3時半ごろ、学園内の一室に合唱練習の音が響いた。10人が歌うのは、アンジェラ・アキさん作詞・作曲の「手紙〜拜啓十五の君へ」。意見を出し合い、時にはだれかが話す冗談に笑いながら約1時間が過ぎた。

が多いことから「学園は学校とは違うもう一つの居場所。伸び伸びとした生徒の姿を知ってほしい」(同学園)と、普段から練習している約20人での舞台上に飛び出すことにした。

同学園は1993年に6人でスタートした。学校に通いづらくなった生徒が在籍し、現在は小中高生の36人。音楽を中心に学園祭などで発表する機会はあるが、今の顔ぶれは特に音楽好きの生徒

「歌が好き。フリースクール同士の秋のステーション。発表で、一人で歌い自信がついた」と意欲満々だ。中学生入学後、他生徒とのいざこざで学校が怖いと話した。だが学園では、新しい友人と大きな声で

合唱、バンド、ダンス

29日